

2020大会に向けて

大会を契機とした快適な通信環境の整備

- 都営競技施設等で5GとWi-Fi環境を整備
- 「TOKYO FREE Wi-Fi」をはじめとする無料Wi-Fiスポットを都内各地に整備



自動運転技術の活用

- 自動運転の社会実装に向けた実証実験や機運醸成事業を実施
(実証実験の例)
- 5Gを活用した自動運転タクシーの事業化に向けた運行管理実証
- 地域の公共交通・サービスと連携した自動運転の実用化



ロボット技術等の活用

- 「Tokyo Robot Collection」を実施し、ロボットを活用した新しい社会実装モデルをショーケース化
(ショーケースの例)
- 宿泊療養施設の感染症対策に向けた実証
- 都市型複合施設のニューノーマル実現に向けた実証



客室への物資搬送ロボット



- 障害や病気により会場での観戦が困難な子供たちに、先端技術を活用し、大会をリアルに楽しめる機会を提供

2020のその先へ

いつでも、誰でも、どこでも、なんでも、何があっても「つながる東京」を実現するとともに、データ共有と活用の仕組みづくりを強力に推進し、都民のQOLを向上



「TOKYO Data Highway」を実現

2030年までに、都内5Gエリアの構築 100% 概成へ

- 5Gアンテナ基地局の設置促進
- 都内区市町村との連携強化・ノウハウ共有による5Gネットワークの拡大
- 西新宿をはじめスマート東京先行実施エリアでの実証プロジェクトなどを通じて、5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装を推進

国や全国自治体との協働による全国展開(共存共栄)



実証プロジェクトを強力に推進し、様々なデータを連携させた分野横断的なサービスを実現

